

問1 東北地方では、青森ねぶた祭や仙台七夕まつりといった伝統行事が重要な観光資源となっています。2024年の統計資料によれば、これらの祭りは多くの観光客を呼び込み、地域に多額の利益をもたらしています。このように、祭りの開催によって宿泊施設や飲食店、交通機関などの売上が増え、地域全体に及ぼされる経済的な波及効果を何といいますか。 (2026年 千葉県公立入試 類似)

1. 過疎化の抑制 2. 経済効果 3. 地産地消 4. 伝統的工芸品

問2 東北地方において、津軽塗や南部鉄器といった伝統的工芸品が古くから発展してきた背景を説明したものととして、最も適切な理由はどれですか。 (2022年 京都府公立入試 類似)

1. 江戸時代に整備された五街道のすべてが東北地方を起点としており、物流の拠点であったため 2. 積雪の多い冬の農閑期に、屋内でできる貴重な現金収入源として技術が磨かれたため 3. 東北地方は8つの県で構成される広大な地域であり、各藩が共通の特産品を推奨したため 4. 一年を通じて温暖な気候に恵まれ、屋外での大規模な手作業に適していたため

問3 東北地方の伝統文化について、都道府県名とその地域を代表する祭りの内容や特徴の説明として、最も適切な組み合わせを選んでください。 (2017年 兵庫県公立入試 類似)

1. 岩手県 — 巨大な灯籠（とうろう）を引いて街を練り歩く「ねぶた祭り」 2. 秋田県 — 豪華な吹き流しや短冊などの飾りを竹に吊るす「七夕祭り」 3. 宮城県 — 多数の提灯を吊るした長い竹竿を稲穂に見立てて操る「竿燈祭り」 4. 青森県 — 巨大な灯籠（とうろう）を引いて街を練り歩く「ねぶた祭り」

問4 東北地方の地形について、中央部の南北に走る奥羽山脈と、その東側に位置する北上山地の特徴を比較した記述として正しいものはどれか。 (2023年 愛媛県公立入試 類似)

1. 奥羽山脈はリアス海岸を形成する原因となっており、北上山地は日本最長の山脈として中央部を貫いている。 2. 奥羽山脈は火山が多く含まれる険しい山脈であり、北上山地は比較的古くならぬ高原状の地形である。 3. 奥羽山脈は標高が低くならぬ高原であり、北上山地は火山活動が盛んな険しい山脈である。 4. 奥羽山脈は東北地方の西側に位置して日本海に面しており、北上山地は中央部を南北に走っている。

問5 福島県内陸部に位置する若松は、太平洋沿岸の小名浜に比べて冬の気温が低く、年間の気温の変化（年較差）が大きいという特徴があります。若松の1月の平均気温が約1度、年間の降雪日数が約102日であるのに対し、小名浜の1月の平均気温は約4度、降雪日数は約24日となっています。若松において、冬の降雪日数がこれほどまでに多くなる地理的な要因として最も適切なものはどれですか。 (2024年 岩手県公立入試 類似)

1. 日本海側から吹き込む湿った季節風の影響を強く受けるため 2. 黒潮（日本海流）の影響で大気が不安定になり、雪雲が発達しやすいため 3. シベリア高気圧から吹き出す乾いた風がフェーン現象を起こして冷え込むため 4. 太平洋側から吹き込む湿った南東の季節風が奥羽山脈を越えてくるため

問6 東北地方の三陸海岸沖は、世界的な優良漁場として知られています。この海域において、南北からの異なる海流が交差することによって生じる現象と、それが漁場に与える影響についての説明として最も適切なものを、次のうちから選びなさい。 (2025年 徳島県公立入試 類似)

1. 日本海側からの対馬海流が合流することで、サンマやイワシなどの暖流にすむ魚だけが集まる漁場となる。 2. 寒流と暖流が打ち消し合うため、水温が急激に低下して魚の種類が減少し、漁業には適さない海域となる。 3. 寒流と暖流が交わる「潮目」が形成され、プランクトンが豊富に発生するため、多様な魚が集まる優れた漁場となる。 4. 寒流のリマン海流の影響を強く受けるため、年間を通じて海面が凍結し、養殖業を中心とした漁場となる。

問7 青森県の産業構造について述べた次の記述のうち、正しいものはどれですか。 (2026年 岡山県公立入試 類似)

1. 国内貨物海上輸送量は東北地方で最も多いが、農産物の産出額は全国的に見て低い水準に留まっている。 2. 果実の産出額は全国上位五位以内であるが、漁業生産量は全国平均を下回っており、海上輸送より陸上輸送が中心である。 3. 漁業生産量は全国トップクラスであるが、果実産出額は東北地方の中でも低く、一次産業の偏りが大きい。 4. 漁業生産量と果実産出額が共に全国五位以内という高い水準にあり、国内貨物海上輸送量も東北地方で二番目に多い。

問8 日本の広域地方区分において、東北地方の地理的特徴について説明したものととして最も適切なものを選びなさい。 (2026年 長野県公立入試 類似)

1. 福島県は東北地方の中央部に位置しており、太平洋側と日本海側の交通の要所となっている。 2. 福島県は東北地方の南端に位置しており、関東地方から新幹線などで北上する際の起点となる。 3. 福島県は東北地方の西端に位置しており、北陸地方から新幹線が直接乗り入れている。 4. 福島県は東北地方の北端に位置しており、北海道との物流において重要な役割を果たしている。

問9 東北地方の奥羽山脈より西側に位置する地域において、冬の降水量（降雪量）が夏よりも多くなる主な要因として正しいものはどれですか。 (2019年 富山県公立入試 類似)

1. 湿った北西の季節風が奥羽山脈にぶつかり、上昇気流が発生するため 2. 梅雨前線が山脈の西側に長期間停滞し、湿った空気を供給し続けるため 3. 湿った南東の季節風が奥羽山脈にぶつかり、上昇気流が発生するため 4. 暖流である日本海海流の影響で、冬でも気温が下がりにくいため

問10 東北地方の農業生産において、米の占める割合が他の地域に比べて非常に高い理由や背景を説明したものととして、最も適切なものはどれですか。 (2016年 秋田県公立入試 類似)

1. 太平洋沿岸部で夏に吹く冷たく湿った「やませ」の影響により、野菜や果樹の栽培が困難で、米作に専念せざるを得なかったため。 2. 最上川や北上川などの流域に広がる平野部において、大規模な土地改良や機械化による効率的な稲作が発展したため。 3. 山がちで平地が少ない地形条件を克服するため、傾斜地を利用した棚田による稲作が、他の地域よりも大規模に行われたため。 4. 首都圏などの大消費地から距離があるため、鮮度が重視される野菜や乳製品よりも、輸送や保存に適した米の生産を選択したため。

問11 東北地方の太平洋側では、夏にオホーツク海高気圧から冷たく湿った北東の風が吹き込むことで、気温が上がらずに米などの作物の収穫量が減少することがあります。この冷たく湿った風の名称と、それによって引き起こされる災害の名称の組み合わせとして正しいものを、次の中から選びなさい。 (2017年 大分県公立入試 類似)

1. 風の名称：やませ、災害の名称：冷害 2. 風の名称：季節風、災害の名称：震災 3. 風の名称：フェーン現象、災害の名称：塩害 4. 風の名称：からっ風、災害の名称：干害

答え合わせ・解説

問1	答え 2 経済効果	地域の伝統行事が観光の目玉となることで、県外から訪れる人々が宿泊や食事、土産物の購入にお金を使います。これにより、祭りそのものの収益だけでなく、周辺のさまざまな産業に利益が広がる現象を指します。東北地方では、特に青森ねぶた祭や仙台七夕まつりなどの大規模な祭りが、地域経済を支える重要な柱となっています。
問2	答え 2 積雪の多い冬の農閑期に、屋内でできる貴重な現金収入源として技術が磨かれたため	東北地方は冬の寒さが厳しく、雪によって農業ができない期間（農閑期）が長く続きます。この期間に、地元で採れる木材や漆、鉄などの資源を加工し、屋内で副業として工芸品を作ることが奨励されたため、高度な技術が蓄積されました。なお、東北地方は6県で構成されており、五街道（東海道・中山道・甲州街道・日光街道・奥州街道）のうち、東北地方を通るのは奥州街道のみです。
問3	答え 4 青森県 — 巨大な灯籠（とうろう）を引いて街を練り歩く「ねぶた祭り」	青森県は「ねぶた祭り」、秋田県は竹竿に提灯を吊るす「竿燈（かんとう）祭り」、宮城県（仙台市）は「七夕祭り」がそれぞれ有名です。これらは東北三大祭りとも呼ばれ、各県の地理的・文化的背景と密接に結びついています。岩手県の代表的な祭りには「盛岡さんさ踊り」などがあり、ねぶた祭りとは異なります。
問4	答え 2 奥羽山脈は火山が多く含まれる険しい山脈であり、北上山地は比較的古くならだかな高原状の地形である。	東北地方の中央を走る奥羽山脈は、火山帯が重なり急峻な山々が連なるのが特徴です。一方、その東側（太平洋側）にある北上山地は、古い地層からなり、長年の浸食によってならだかな高原状の地形が広がっています。この地形の差は、農業や土地利用の仕方の違いにも繋がっています。
問5	答え 1 日本海側から吹き込む湿った季節風の影響を強く受けるため	若松は福島県の内陸部に位置する盆地であり、冬には日本海側から湿った冷たい季節風が吹き込みます。この季節風が奥羽山脈などの山地を越える際に雪を降らせるため、日本海側の気候に近い「多雪」という特徴を持ちます。一方、沿岸部の小名浜は、山脈によってこの季節風が遮られるため、冬は乾燥して晴天が多くなり、降雪日数が少なくなります。
問6	答え 3 寒流と暖流が交わる「潮目」が形成され、プランクトンが豊富に発生するため、多様な魚が集まる優れた漁場となる。	寒流である親潮と暖流である黒潮が交差する海域は「潮目（潮境）」と呼ばれます。ここでは栄養分が豊富に含まれ、プランクトンが大量に発生するため、それを餌とする多くの魚が集まり良好な漁場が形成されます。
問7	答え 4 漁業生産量と果実産出額が共に全国五位以内という高い水準にあり、国内貨物海上輸送量も東北地方で二番目に多い。	青森県は一次産業の生産力が極めて高く、漁業と果樹栽培の両分野で全国トップ5に入る実力を持っています。また、その生産を支える物流面においても、東北地方で第2位となる高い海上輸送量を誇っており、生産と流通が結びついた産業構造が確立されています。
問8	答え 2 福島県は東北地方の南端に位置しており、関東地方から新幹線などで北上する際の起点となる。	福島県は東北6県の中で最も南に位置しています。そのため、政治・経済の中心地である東京を含む関東地方から陸路で東北地方へ向かう際、鉄道（東北新幹線）や道路（東北自動車道）のいずれにおいても最初に通過する県であり、東北の南の玄関口としての役割を担っています。
問9	答え 1 湿った北西の季節風が奥羽山脈にぶつかり、上昇気流が発生するため	日本の冬はシベリア高気圧から北西の季節風が吹き出します。この乾いた風が日本海を渡る際に水蒸気を蓄え、湿った空気となって日本列島に到達します。その風が奥羽山脈などの高い山々にぶつかって上昇することで雪雲が発達し、日本海側の地域に多くの降雪をもたらします。反対に、山を越えた太平洋側では乾燥した晴天が多くなります。
問10	答え 2 最上川や北上川などの流域に広がる平野部において、大規模な土地改良や機械化による効率的な稲作が発展したため。	東北地方は、庄内平野や北上盆地などの豊かな水資源と広大な平坦地に恵まれています。かつては冷害などの自然災害に悩まされてきましたが、品種改良や水利施設の整備、農地の集約化といった生産基盤の強化を進めたことで、日本を代表する米の供給地となりました。やませはむしろ冷害の原因となるため米作には不利に働きますが、それを克服するための技術革新が「米どころ」としての地位を支えています。
問11	答え 1 風の名称：やませ、災害の名称：冷害	オホーツク海高気圧から吹き込む冷たく湿った北東の風は「やませ」と呼ばれます。これが夏に長期間吹き続けると、東北地方の太平洋側を中心に日照不足や低温が続き、農作物の成長が妨げられます。特に主食である米が大きな被害を受けるこの災害を「冷害」と呼び、日本の東北地方における地理的課題の一つとなっています。